

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	おはなしひろば	復活ドッチ	境南コミセンおやこひろば おはなしひろば 卓球教室		オー 復活ドッチ	
7	8	9	10	11	12	13
	おはなしひろば	復活ドッチ	おはなしひろば 桜堤コミセンおやこひろば	トランポリンの日	ワン 復活ドッチ	
14	15	16	17	18	19	20
	おはなしひろば おはなし玉手箱 地域クラブヨガ申込	リフレッシュタイム 復活ドッチ 地域クラブヨガ申込	おはなしひろば(パンダ)	リトミック	復活ドッチ	9:30~11:00 ホール使用×
21	22	23	24	25	26	27
	おはなしひろば	チルタイム 復活ドッチ	測定の日 保健師来館	のびのびプロジェクト みんなで話そう座談会	ゆう・遊・グーの日 復活ドッチ	
28	29 昭和の日	30				
		復活ドッチ				

各行事の参加は、武蔵野市在住の方に限らせていただきます

ちびっくらんど

- ◇オー：4/5（金） 10時30分～11時30分
歌や手遊びを楽しんだり、おしゃべりしましょう♪
対象：プレママ・1歳未満のお子さんと保護者
- ◇ワン：4/12（金） 10時30分～11時30分
身体を動かしてあそびましょう♪
対象：1歳のお子さんと保護者
- ◇リトミック
4/18（木） 10時30分～11時30分
リトミックで身体を使ってあそびましょう♪
対象：ひとり歩きのできる1歳6ヶ月～未就学児と保護者 15組（市内在住者、先着順）
3歳以上のお子さん也大歓迎！！
講師：安藤朋子氏（ダルクローズ・リトミック国際免許
サーティフィケート保持）

☆ちびっくらんどの参加について：当日、児童館へ

- ◇測定の日&保健師来館 ホールにて
4/24（水） 10時～11時30分
お子さんの身長・体重を測ることができます。
育児の相談などできます。プレママ・プレパパもおいでください♪

乳幼児と保護者のみなさん

- ◇おはなしひろば 育成室にて
4/1・8・15・22（月）
3・10・（水）
11時15分～11時30分
- ◇おはなしひろば(パンダ) 図書室にて
4/17（水） 11時15分～11時45分
“NPO法人ぐーぐーらいぶ”による
「おはなしばんだがやってくる」
- ◇トランポリンの日 ホールにて
4/11（木） 11時30分～正午

- ◇コミセン親子ひろば
4/3（水）境南コミセン
4/10（水）桜堤コミセン
10時～11時30分
対象：0歳～未就学児のお子さんと保護者
参加したいひろばに当日お越しください。
【問い合わせ先】
武蔵野市子ども家庭支援センター
TEL：0422-60-1239



＜児童館のやくそく＞

- *自分の持ち物には、必ず名前を書きましょう。
- *下校後、一度家に帰って、ランドセルを置いてから遊びにきてください。
- *児童館にゲーム機器やカードゲームなどを持ってきて遊ぶことはできません。
- 持ってきたときは事務室に預けましょう。
- *自転車などにいたずらをされることがあります。自転車は鍵をかけて止めましょう。
- *乳幼児さんは必ず保護者（高校生以上）の方と一緒に来館してください。

☆おはなし玉手箱

テレビやゲームにスマホに動画など、子どもたちの生活は刺激の強いものにあふれています。時には、強い刺激から離れ、感性を働かせながら物語を自由に想像し楽しみませんか。

内容：メルヘンの会の語りによる素話

4/15（月） 3時30分～4時

「おおかみと七ひきのこやぎ」他

対象：乳幼児と保護者、小学生 当日、児童館へ

☆卓球教室

4/3（水） 3時30分～4時30分

定員：各15名

徳田先生・柳楽先生が丁寧に教えてくれます。

ラケットは児童館にもあります。

当日、児童館へ

復活ドッチ

基本週2回（火・金）/各回 定員：15名

申込：当日、開始時間までに事務所へ（先着順）

日程：カレンダーをみてください

時間：小学1～3年 前半3：50～4：00/後半4：05～4：15
小学4～6年 前半4：20～4：30/後半4：35～4：45/後半4：45～4：55

持ち物：水筒・ハンカチ

※復活ドッチのルールを知りたい子は、事務室に聞きにきてください。

＜児童館の風景＞

児童館のお庭（館庭）では、毎日のように小学生の子どもたちがドッチボールを楽しんでいます。遊んでいる子どもたちは、クラスも違えば年齢や学年、性別など越え、1年生から6年生が一緒になって楽しんでいるのです。子どもたちにとって遊びとは、誰かに求められてやることではなく、“こうしたい”“楽しみたい”という内発的動機から行われる活動です。

以前どこかの記事で「これからの社会は、AI技術の発展により多くの仕事をAIがこなすようになる。人間の業務は徐々に失われていくだろう。」というものを見て、ちょっと背筋がヒンヤリした覚えがあります。でも確かに、飲食店で猫型のロボットが頼んだ料理を運んでくるのをよく見るようになりました。そう遠い未来でもないのかも知れません…。

館庭の風景に戻りましょう。そこでは、高学年の子が低学年のために不公平のないよう子どもたちなりにルールを考え、遊んでいました。低学年の子どもその気遣いに感謝はしないまでも嬉しそうに遊び続けています。遊びは一人でもできますが、やっぱり仲間がいると何倍も楽しく感じるのでしょ。相手の気持ちになって…”ロボットにはきっとこのさきも難しいでしょう。子どもたちは内発的な遊びを通して、様々なことを考え学び合っているのだと思います。これからも児童館は、子どもたちの豊かな遊びを支えられる場となっていきたく考えています。